

かながわ

看護連盟通信

No.
71

Kanagawa
Nursing league Letter

発行：令和元年9月1日



熱い思い
伝わる



祝 当選

第25回参議院議員選挙において石田まさひろ議員は2回目の当選を果たしました。引き続き看護職の代表を国会に送る事ができました。

多くの会員の方、応援して頂いた方々、国会議員、県会議員、市会議員、の方々にもご支援を頂きました。

7月4日(木)日本看護連盟本部で出陣式を行い全国遊説に出ました。

また、神奈川県には7月14日(日)午後から遊説に入りました。川崎駅を皮切りに、鶴見、新杉田、藤沢、本厚木、秦野の6ヶ所で演説を行いました。



日本看護連盟本部

7/4



日本看護連盟で必勝祈願



祈る



出陣式
応援も熱い



必勝祈願!

7/14



川崎



いざ出陣!



第一声は本部で



皆さんありがとうございました



新杉田

神奈川県看護連盟
事務所において

ごあいさつ

神奈川県看護連盟 会長 奥本 信子



日頃より、神奈川県看護連盟の活動に対しご協力いただきありがとうございます。

第25回参議院議員選挙に於いて看護師の石田まさひろさんが2期目の当選を果たしました。

皆様の暖かい大きな応援があり感謝いたします。

看護職国会議員は4名の議席を守ることができました。参議院議員のたかがい恵美子議員(厚生労働副大臣)、石田まさひろ議員(厚生労働委員長)、衆議院議員のあべ俊子議員(外務副大臣)と、木村弥生議員です。

本年度は「ナースングナウ」のキャンペーンを始めています。「看護の力で健康な社会を」を掲げ看護職の専門性を最大限発揮し、人々の健康の向上に貢献していくことと看護職の地位と社会的な評価の向上を目指しています。

看護現場の諸問題を解決する政治的アプローチをするために、看護職国会議員に、看護現場の声を届けていかなければなりません。議員との意見交換の場を多く設け、より政治に関心をもっていただくために今後も取り組んで参ります。

看護職が一丸となって、看護の未来をよりよく変えていきましょう。

日本看護連盟 会長 大島 敏子



第13代日本看護連盟会長に、ご推挙頂いた大島敏子です。

昭和34年7月、日本看護協会に「看護政治連盟設立準備委員会」が発足、初代看護協会長の井上なつゑ氏が戦後初めての参院選に当選、厚生省医務局に看護課を新設(S23)。その後9年間、議員を出せなかったとき何が起こったのか?

昭和31年には、厚生省看護課が廃止され、年々劣悪になる労働環境を変革するため、政治的活動の重要性を認識し、看護協会の目的を達成するための組織団体を設立したのが日本看護連盟誕生秘話です。それが現在の連盟活動の原点で、「Nursing now」=看護の力で社会を良くしよう!という活動にも繋がっているのです。

令和の時代、連盟活動は、「立」から「律」への意識変革です。「立」とは経済的・技能的自立で、「律」とは自分なりの価値基準や信条、理念をもち自ら判断・行動することです。「自律した看護職」として、明るく・楽しく・元気よく、進めて参りましょう。

公益社団法人川崎市看護協会 会長 広瀬 壽美子



残暑、お見舞い申し上げます。

当協会は6月27日に無事通常総会を終え、「地域包括ケアの推進に向けた看護の質向上」と「災害時における看護支援の取組の構築を図る」を重点事業として、令和元年度事業を推進しているところです。翌日28日には、神奈川県看護連盟の通常総会に参加させていただきました。夏の選挙に向けて力の結集が確認され、7月には見事大きな花が咲きました。

医療の提供体制や看護に関わる制度が、大きく変わろうとする中、自分達の役割と足元をしっかり見つめ、必要な力を蓄え社会の期待に答えていく。そのための多くの課題の解決に向け、看護職連携、多職種連携を通して、これからの看護活動を推進していきたいと思ひます。まだまだ暑い日が続きます。皆さまご自愛ください。

厚生労働副大臣 参議院議員 **たかがい 恵美子**

神奈川県看護連盟の皆さまにおかれましては、お健やかに過ごしのことと拝察いたします。令和初の参院選では石田まさひろ議員を再選いただき、誠にありがとうございます。看護職を代表する議員として、今後ますますの活躍が期待されますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

厚生労働副大臣に就任後、外国人労働者の受け入れ体制整備など広範で深遠な働き方改革の推進にあたっています。また、2040年をめざす社会保障制度改革の方向性について議論を進めています。

就業女性数が増え育休取得率も上昇した一方、看護の現場では、各々の将来を見据えたキャリア形成環境の整備が一層重要となっています。個性や能力を發揮し一人ひとりが輝ける未来のために、これからも地道にがんばります。



厚生労働委員長 参議院議員 **石田 まさひろ**

皆様のお力をいただき、7月21日、医療福祉系の立候補者が多くいる中で最高得票を得て、再び社会保障政策の中心で働くチャンスをおいただきました。

すでに7月29日より新しい任期がはじまっております。

看護職員一人ひとりの働く環境を改善し、いい看護ができたという実感を日々得られる、プライドとプロ意識をもって看護が出来る、そんな現場をめざします。

そのために必要な人員確保、ヘルシーワークプレイスづくりの浸透、処遇の改善、資質の向上、すべての制度を整えたい。

Nursing now の精神を広げ、看護の力で明るい未来を導きます。

2期目も与えられた役割、使命を果たすべく、全身全霊をかけて取り組む所存です。

ご期待いただいたことの重みを忘れることなく、これからも前に進んで参ります。

今後とも見守り続けていただけますよう、変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。



外務副大臣 衆議院議員 **あべ 俊子**

神奈川県看護連盟の皆さまにおかれましては益々健勝のことと存じます。

この度の石田まさひろ先生の栄えあるご当選、誠にありがとうございます。看護連盟の皆さまから多大なご支援をいただき、看護系議員の議席を守ることができたと、私からも心より御礼申し上げます。

今回のご当選は「すべての看護師が“今日もよい看護ができた”と思える現場にしたい」という石田まさひろ先生の熱い情熱、看護の発展にご尽力された6年間の功績、そして何より、全国の看護師の方々の「私たちはもっとよい看護をしたい」という熱意によるものと確信しております。

皆さまの17日の熱いご支援に、国会議員としての思いを改めて強くなりました。

よい看護のために現場を変える、現場を変えるために制度を変える。

その実現に向けて、石田まさひろ先生と一緒に尽力して参りたいと思いますので、今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。

この度は本当にありがとうございます。



衆議院議員 **木村 弥生**

神奈川県看護連盟の皆さま、こんにちは。

参議院選挙の応援お疲れ様でした。私も京都三区で一生懸命に応援致しました。石田まさひろ先生の当選と一緒に祝いしております。

私は、これまで看護の視点を軸に医療分野をはじめ、待機児童、特別養子縁組、生活困窮者の就労支援、児童虐待、乳児用液体ミルク等の政策課題に強い思いを持って取り組んでまいりました。

国の方向性として、私が提唱している「誰もがより健康で活躍できる社会」「再チャレンジ可能な社会」へと加速しているように思います。

また児童虐待防止・対策強化のため、児童福祉法も3年ぶりに改正しました。さらに、その周辺に潜む、さまざまなリスク因子の改善に向けて力を尽くします。

令和の時代に日本をより良い国にしていきたいために、看護職がますます力を発揮する、そんな社会になるよう、これからも看護職員として、看護と政治をつなぐ役割を果たしてまいります。引き続き、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



2019年度 通常総会

6月28日(金)
参加者130名

通常総会はロイヤルホールヨコハマにおいて開催され、報告事項及び審議事項は無事承認されました。神奈川県看護連会長表彰者に畠山友子さん・與那原明子さんが選ばれました。

2018年度 収支計算書

2018年4月1日～2019年3月31日

収入総額 79,578,201円
支出総額 31,862,995円
収支差額 47,715,206円

[収入の部]

(単位:円)

項目	予算額	決算額	増減額	備考
I 会費	21,630,000	20,077,000	1,553,000	正会員4,999人(内70歳以上30人) 賛助会員73人 合計5,072人
II 助成金	11,700,000	13,636,580	△1,936,580	日本看護連盟助成金
III 雑収入	670,000	589,977	80,023	研修参加費、会員交流会参加費 広告料等
A 当期収入合計	34,000,000	34,303,557	△303,557	
前期繰越収支差額	45,274,644	45,274,644	0	前年度繰越金
B 収入合計	79,274,644	79,578,201	△303,557	

[支出の部]

(単位:円)

項目	予算額	決算額	増減額	備考
I 会議諸費	5,300,000	3,209,105	2,090,895	会場費、総会資料印刷代等 県役員会議4回、県役員・支部長会議2回、 県役員・支部役員合同会議3回
総会費	2,100,000	1,714,044	385,956	
役員会費	3,200,000	1,495,061	1,704,939	
II 事業費	13,930,000	11,166,852	2,763,148	役員活動費、機関誌発行費、都道府県別会議1回 職域活動交付金 広島、愛媛、岡山各県看護連盟への災害義援金 研修3回、リーダーセミナー2回、国会見学
活動費	10,280,000	8,312,251	1,967,749	
職域活動費	2,000,000	2,000,000	0	
災害対策費	150,000	150,000	0	
III 運営費	16,000,000	14,338,624	1,661,376	会長、事務局職員給与等 事務室賃借料、物品リース料、消耗品費等
人件費	9,000,000	8,410,154	589,846	
需給費	7,000,000	5,928,470	1,071,530	
IV 支部交付金	3,500,000	3,148,414	351,586	11支部への交付金
V 予備費	500,000	0	500,000	
C 当期支出合計	39,230,000	31,862,995	7,367,005	
A-C 当期収支差額	△5,230,000	2,440,562	△7,670,562	
B-C 次期繰越収支差額	40,044,644	47,715,206	△7,670,562	次期繰越金



2019年度 収支予算書



2019年4月1日～2020年3月31日

[収入の部]

(単位:円)

項目	予算額	前年度予算額	増減額	備考
I 会費	21,610,000	21,630,000	△20,000	会員5,400人(内70歳以上35人) 賛助会員80人
II 助成金	11,000,000	11,700,000	△700,000	日本看護連盟助成金
III 雑収入	850,000	670,000	180,000	国会見学参加費、会員交流会参加費 研修参加費、広告料等
A 当期収入合計	33,460,000	34,000,000	△540,000	
前期繰越収支差額	47,715,206	45,274,644	2,440,562	前年度繰越金
B 収入合計	81,175,206	79,274,644	1,900,562	

[支出の部]

(単位:円)

項目	予算額	前年度予算額	増減額	備考
I 会議諸費	5,000,000	5,300,000	△300,000	会場費、総会資料印刷代、講演会費等 県役員会議、県役員・支部長会議、 県役員・支部役員合同会議、幹部会議
総会費	2,000,000	2,100,000	△100,000	
役員会費	3,000,000	3,200,000	△200,000	
II 業務費	13,980,000	13,930,000	50,000	役員活動費、機関誌発行費、都道府県別会議、 会員交流会費等 職域活動交付金 被災地見舞金 研修費、リーダーセミナー、国会見学等
活動費	10,280,000	10,280,000	0	
職域活動費	2,000,000	2,000,000	0	
災害対策費	200,000	150,000	50,000	
研修費	1,500,000	1,500,000	0	
III 運営費	16,000,000	16,000,000	0	会長、事務局職員給与等 事務室賃借料、物品リース料、消耗品費等
人件費	9,000,000	9,000,000	0	
需給費	7,000,000	7,000,000	0	
IV 支部交付金	3,500,000	3,500,000	0	11支部への交付金
V 予備費	500,000	500,000	0	
C 当期支出合計	38,980,000	39,230,000	△250,000	
A-C 当期収支差額	△5,520,000	△5,230,000	290,000	
B-C 次期繰越収支差額	42,195,206	40,044,644	2,150,562	次期繰越金



2019年度 事業計画



重点方針

- 1 選挙の勝利 2 力強い組織の創成 3 成熟・自律した活動

目的	目標	方針	活動
政策実現力の強化	1 看護職国会議員の支援	1) 第25回参議院選挙において候補者を高得票で当選させる 2) 4人の看護職国会議員の活動状況及び知名度の周知	<ul style="list-style-type: none"> 第25回参議院選挙の得票数を5,500票以上とする。 応援する会入会者を8,400人とし期日前投票を推進する。 ホームページ、SNSを活用し発信する。
	2 看護政策の実現	1) 現場の声の把握 2) 看護政策実現に向けての看護協会との連携 3) 医療系・介護系団体との連携	<ul style="list-style-type: none"> 神奈川県選出国会議員の政策説明会等に参加し連携を密にする。 「現場の声」を集約し、要望書等につなげる。 要望書の作成は、県看護協会と綿密な協議を行い、共同して行政・議員等へ提出する。 医療・介護系団体と連携する。
	3 看護を理解する国会議員の確保と支援	1) 神奈川県選出の国会議員との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> 県内選出国会議員との交流の場を持つ。 支援している県内選出国会議員に看護政策の必要性の理解を図る。 看護政策に理解を示す国会議員を支援する体制を強化する。
	4 地方議員、地方議会、地方行政への影響力の強化	1) 県内の地方議員との情報交換と活動支援 2) 県内地方議会、行政等との情報交流	<ul style="list-style-type: none"> 県内地方議員に看護政策の必要性の理解を図る。 県内地方議員との交流の場を設け、連盟に対する理解を深める。 県内地方議員の活動を支援する。 地方行政の看護政策に関する情報を積極的に入手する。 看護政策実現のための地方行政への働きかけをする。
組織力の強化・拡大	1 看護連盟の強化と活動の周知徹底	1) 連盟活動のPR 2) 活発な情報交換 3) 自律した会員の育成	<ul style="list-style-type: none"> より充実した連盟通信を、年2回発行する。 効果的・効率的で親しみやすい研修を企画し実施する(年5回程度)。連盟研修4回、国会見学研修1回 ホームページを活用した情報交換を継続する。 未加入者及び連盟会員に対し、連盟活動の理解を深める。 国政における看護職議員の活動を報告する。 看護職国会議員のビデオメッセージを活用する。 日本看護連盟機関誌アンフィニ、会員ハンドブック、各種グッズを活用する。 ブロック看護管理者セミナーに参加し連盟活動の意義を知る。





2019年度 神奈川県看護連盟役員名簿



2019年7月1日から

組織力の強化・拡大	2 会員数の増加	1)2019年度の会員目標数の設定 2)看護連盟入会の促進 3)退会者の防止 4)OB 会活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> 2019年度の会員目標数を5,400人とする。(平成30年度会員数4,999人) 施設訪問を行い、連盟加入を働きかける。 平成30年度の加入者で、2019年度に加入していない人に、重点的に加入を働きかける。 県看護協会役員に連盟加入を働きかける。 看護系大学・看護専門学校教員に入会を働きかける。 特別会員、学生会員を確保する。 OB 会の活動を支援する。
	3 日本看護連盟、神奈川県看護協会等との連携強化	1)日本看護連盟との情報の共有化 2)他都道府県看護連盟との連携強化 3)県看護協会、川崎市看護協会との連携	<ul style="list-style-type: none"> 中央役員会及び各種委員会の審議事項を共有する。 他都道府県看護連盟との連携を強化する。 県看護協会会長及び川崎市看護協会会長と、定期的に看護政策等について話し合いの機会を設ける。
	4 神奈川県看護連盟の効率的運営	1) 県役員会の開催 2) 財政の健全化と適正化	<ul style="list-style-type: none"> 県役員会(年6回程度)において様々な事案を審議し、総会に次ぐ決議機関として看護連盟の効率的運営に努める。 財政の健全化、経費の削減に努める。
	5 支部組織の活動の強化・促進	1) 県役員・支部長会議、県役員・支部役員合同会議の開催 2) 支部役員・リーダーの意識強化 3) 支部会員のモチベーションの強化 4) 青年部の設置育成	<ul style="list-style-type: none"> 県役員・支部長会議(年2回程度)において、本部情報の提供と支部にかかる重要案件を検討する。 県役員・支部役員合同会議(年4回程度)において、現場の声を聴き意見交換の場とする。 役割を発揮できるリーダーを育成する。 支部会員のモチベーションの強化に努める(講演会、議員訪問、議員とのつながり)。 青年部に関心のある会員を募り青年部として活動する(議員訪問)。 若手会員を育成する。
	6 その他の組織との連携・協働	1) 看護系教育機関との交流促進 2) 支援団体との交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> 看護教育機関への訪問の機会を作り、看護連盟活動について広報活動を積極的に行う。 支援団体、支援企業との交流の機会を作る。
	7 現場の課題への対応	1) 現場の声の意見・提言などへの速やかな対応	<ul style="list-style-type: none"> 現場の声の意見を集約し、問題解決に向けて対応する。
	会員の福祉の充実	1 災害への対応	1)災害発生地への支援
2 福利厚生への対応		1)日本看護連盟及び県看護連盟規程に基づく対応 2)会員交流会の実施	<ul style="list-style-type: none"> 物故者への弔慰 会員交流会を実施し、会員間相互の交流を図る。
3 諸問題への対応		1)会員の安全の保証	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンスに基づく政治活動、選挙活動のための情報交換を行う。 諸般の疑問・問題には、専門家と相談して速やかに解決する。

[役員]

役職名	氏名
会長	奥本 信子
副会長	光谷 和子
副会長	立川 直美
幹事長	小柳 正子
幹事	山内 精子
幹事	立崎 洋子
幹事	山本 道子
幹事	山本 良子
幹事	林 リツ子
幹事	田中 龍子
幹事	砂田 好至子
幹事	近藤 美知子
幹事	二見 和子
幹事	長場 直子
監事	藤原 紀美子
監事	池田 久子

[支部長・幹事長]

支部名	支部長	幹事長
川崎支部	二見 和子	千葉 芳子
横浜第一支部	光谷 和子	山内 美智子
横浜第二支部	島山 友子	永治 陽子
横須賀支部	萩原 千鶴子	中村 晃子
相模原支部	末永 知子	川端 房絵
県西支部	砂田 好至子	西藤 弘子
湘南支部	古見 田鶴子	小林 文子
県央支部	丸山 セキ子	原田 貞代
富士見町支部	廣島 博美	門根 道枝
川崎助産師会	勝俣 喜代子	小池 トモ子
横浜市西部支部	原科 美津枝	江尻 徳子

[相談役及び顧問]

役職名	氏名
相談役	花井 恵子
相談役	広瀬 壽美子
顧問	野地 金子

新支部長の紹介



横須賀支部長
萩原 千鶴子

医療・看護政策への関心が高まる研修・活動をしていきたいと思ひます。



横浜市西部支部長
原科 美津枝

初めて支部長として現場の声を大切に活動します。



国会見学開催

詳しくは当看護連盟にお問合せ下さい。

- 開催日** 令和元年11月1日(金)
- 募集人員** 50名
- 申込締切** 令和元年9月30日(月)

予定スケジュール

横浜 → 国会議事堂 → 国政報告会 → 法務省法務資料展示室 → 日本銀行金融研究所・貨幣博物館 → 横浜

医療法人社団

秦野厚生病院 身体拘束ゼロの実現



看護部長 西 典子

神奈川県西部にある秦野の地は、緑あふれる穏やかな地域にあり、古くから精神病院も多く地域に点在し、精神障害者を温かく支援する風土にあります。

当院は、小田急線東海大学駅前から徒歩5分の立地にあり、この地に根付いて73年になる単科の精神病院です。「皆が安心して地域で暮らせるような精神科医療サービスを提供する」という病院理念のもと、基本方針を

- 1 患者一人ひとりの生き方を尊重した個別医療を提供
- 2 患者との治療共同体を促進
- 3 患者自身がよくなるようとする力を支援
- 4 患者を中心とした地域ネットワークの構築です。



急性期治療病棟60床、精神療養病棟47床、認知症治療病棟53床、の160床のほか、デイケア施設、通所リハビリ施設、グループホームを有し、訪問診療、訪問看護といった急性期治療から地域支援まで、幅広く神奈川県西部地域の精神医療を担っております。

看護部は「看護を必要とする一人ひとりのために自己研鑽を重ね、精神看護の専門性を追究し、最善を尽くすことに責任と誇りを持つ」という看護部理念を掲げ、一人ひとりの患者様との出会いを豊かな経験として重ね、主体的に学び、精神科専門病院の職員として高い専門性をもった看護が提供できるよう日々努力しています。

当院の看護師の平均年齢は36歳で、うち20代看護師が41%と若手がケアをけん引しています。教育体制としては精神看護専門看護師1名、認知症看護認定看護師1名を有し、臨床実践能力を高める支援を積極的に行っております。

看護師になってからのキャリアやライフコースを見守るために、秦野厚生病院精神看護クリニカルリーダーの導入や、キャリアデザインシートを活用し、ライフワークバランスの支援や各々のキャリアを未来志向でデザインできる取組を進めております。

当院は、医療チーム全体で患者の最善の医療を追究しようという姿勢が定着しています。医師や看護師をはじめそれぞれの専門的観点から多角的にアセスメントし、病棟ごとに毎週、多職種カンファレンスを行い、患者へのリハビリに向けた支援に取り組んでいます。

特に行動制限最小化における取り組みは、急性期保護室を除く全ての病棟において、車いす及び、ベッド柵をふくめた身体拘束ゼロを実現し、センサーシートも使用していません。

認知症ケア病棟においては、認知症看護認定看護師の師長を中心に、人対人の相互関係性を活用した、知覚・感情・言語による包括的なコミュニケーションに基づいたケア技法である「ユマニチュードケア」と、

快刺激に着目した「カンフォータブルケア」の実践への取り組みが効果をあげております。患者様への効果を発揮するだけでなく、ケアする側の自己効力感も高め相互作用を活用した穏やかで豊かなケアにつながっていると思います。

また、認知症ケア病棟施設看護基準20:1に対して看護師は常に余剰に確保し、拘束につながらないような人員配置をとっております。それは時に基準の倍にも及ぶ配置ですが、大変贅沢なことですが、院長を始め組織の使命として、十分な人材を配置することで、効果的なケアが提供できるのであればと、看護部門を力強くバックアップしてくれています。看護を行う環境としては、創造する力の育まれる大変恵まれた看護環境の中にそれは実現しております。

160床の精神科単科病院から、基準を覆すことが出来るようなエビデンスを生み出し、人が人を看護ることを欲する診療科だからこそ、ケアの担い手は何処よりも必要なのだということを伝えていける存在になれるよう、これからも努力していきたいと思っております。



よく眠った人には、かなわない。

GOOD DESIGN
マウンテンキルト掛けふとん

水と、空気と、睡眠と。
Lumone

東洋羽毛首都圏販売株式会社横浜営業所 〒241-0031神奈川県横浜市旭区今宿西町1952-1 713-34 0120-00-7663



神奈川県看護連盟青年部

石田まさひろさんの 遊説に同行しました！

7月14日(日)、参議院全国比例区に出馬した石田まさひろさんは、神奈川県内各地を選挙カーで遊説しました。当連盟青年部は、各遊説場所や、選挙カーで、若者の立場から県民の皆様呼びかけを行いました。

梅雨空の中、川崎駅構内を皮切りに鶴見駅前、新杉田駅前、藤沢駅前、本厚木駅前、秦野駅前と県内全6カ所において、地元議員の応援演説と石田まさひろさんによる一言入魂の力強い演説が行われました。そして青年部も、石田まさひろさんの応援や、選挙へ足を運んで頂けるようその大切さを訴えました。

青年部メンバーは皆初めての経験であり、マイクを通して一人ひとりに伝える難しさを痛感したと同時に、石田まさひろさんの凄さを間近で体感する事が出来ました。

今回の経験により、改めて看護の現場より声を発していく必要性を理解したことはいうまでもありません。

青年部として有意義でかけがえのない経験をさせて頂きありがとうございました。



編集
後記

燃えました。夏と同じくらいに熱く・熱く選挙の応援をしました。
その思いが通信で発信できれば嬉しいです。

広報委員

小柳 正子 山内美智子
畠山 友子 中村 茂雄